## 新宮山彦ぐる―ぷ第2005回

## (山頂に乾杯を掛け新年を祝う)新春登山 白猪山(II△819.7m)

◇実施 者 日 ; 2 0 1 9 沖﨑吉信 樋口義也・ 須崎誠. 年 • • 1 畑林清子・上 梶野照雄 栗原真行 **月**3日 木 濱野 村 兼吉 洋司 • • 和山 美 ĴΠ 12名。 • 治 中 雄 前 律 川 島 功

までの 十二支の山であるし「このままではもったいない」それに毎年新 んは紀伊半島内にあって、新宮、奈良、大阪からもそう遠している参加者の体力を勘案した結果外れたようである。 がっていたが、 年の 山をどこにするかと悩むことが多い 所要時間 新 春登 Щ 前 が2時間位要し結構急登であることから、 の自 液祭の会場からの距離確保が難ら白猪山は、昨年の十二支会例会 ので早々に決めたようだ。 大阪からもそう遠くない 会で一 儀なことと山 時候 ΪΪ 高齢: 補 島さ に 化 頂 上







白猪山であるがその昔、堀坂山、局ガ岳と共に伊勢湾を往来する

が猪がれいので れていたとか、明炎いては諸説あるが、 ては諸説あるが、昔ヨゝ゛、これと思われる。ち方がより鮮明に捉えられたものと思われる。ちょっと、いすする。これら三山の姿は陸上や 白 0 多く生息してい 山で城猪山、 'n 転化してい た から 明治以前 それ ったとの説もあるようだ。 て殿様にも献上されていた。治以前は城猪山と呼ばれてい 伊勢の三 昔白 がいつの間にか山の美しさを表すために城 11 猪が住 星」と呼 しんでい ば て神の使いとして崇められる。白猪山の山名につ 行 て、 お城に献上される 麓よりも  $\mathcal{O}$ 目 この 印 12 海上から 辺りは猪







た。 中止 まで来てお寺が判らず大変手間取ったが、石集落の善龍寺駐車場で梶野君と合流した 当日7時 急 も考えたが、 ズに来た。 登 いで山頂の看板を作ったり、正月用グッズを整えた。 山 'に沖崎宅を出発、 は一月三日白 出 間際になって何とか参加者10人の目途が立 発 前 猪山と会員 は今年の干支の 梶野君と合流した。 最終始神テラスで樋口さんと合流 の皆さんに告 ĺЦ であり 今回前 は迷うことなくス 回下見の時は近く 知 Ĺ ・名古屋にも 一月十 し大 つ時

一発前 配したが、 相当数の登 に少し新年と代表就任の挨拶をして、 ガラガラの状態でやや拍子抜けであった。 Щ 者があって駐車スペー ス確保ができるだろうか 9時15分スター 1

するが、 いできなかった。 無住寺のようで、 回も人影を見ることは無かった。駐車させてもらったお寺さんも 家、全ての田 ここ大石 駐車場所から集落が終わる10分程の間、下見の 集落であるが 畑が見事な石垣の上にある。「谷・都 住職の姿は無く、 石積には 「びっくり」 お礼の挨拶をと思ったがお会 であ コース」を利用 る。 全ての民 時も今

休憩。ここから山道歩きとなる。以後登りがキツイ急こう配 本数の木が下見の時以後に伐採されてい 構登りがキツイ。 集落を過ぎ舗装された林道を20 スタート 途中、 から約1時間半でやっと「石尊大権現」に シイタケ用の榾木にするの 分ほど歩いたか、この林道 た。 林道詰で第一 か、 かなりの 回目の のと !も結







口 下見の いに修復されていた。 時は秋  $\mathcal{O}$ 台風の 為か、 ここで中前 中前君が祝詞をあげみんなが合お社がかなり損傷していたが、

> 急登を 7~8分で山頂に着いた。山頂は明るい伐採地で芝生の広ここまで来たらもう一登りだ。展望の良い二の峰の小丘を右手に 掌する。 トし集合写真となった。 彦ぐる一ぷ」の記念標を設置し、中前君持参の 早速「△819.7m 場である。100人でも200人でも座ることが可能な広さだ。 し集合写真となった。 中前君は大峯教のほか、 白猪山」「己亥歳 新春登山 での対応もできるようだ。 H31.1.3 日の丸2本もセッ 新宮山

セット、 写真を撮り終えたころに突然、 加ご苦労様でした。 在で下山、 ったがいくらかの風もあって焚火はならなかった。 続いて各々が盃を持ち山 登り2時間、 下りは1時間15分であった。 栗原さんが姿を見せ集合写真も 頂に乾杯を掛けた。 後昼食とな 皆さん 時間の滞 再

今年もよい年でありますよう願 って ・ます。

表を務めさせていただくことになりました。 本 年一 月より、年長の方、 また先輩諸氏がお 5 れ る中、 世 話 入代 2

- 昭 和49年発足 45年目、 35年目の伝統 奥 紅 道刈峰開始が 昭 和 5 9 年 それぞれ
- 0 南 奥駈 7棟の 維 持管
- 行 政、 教団、山岳諸団体、他一般道45㎞と山小屋4カ所、 他一般登山者との交流や関係

ています。これうつをで、その任は大変大きべ重、~^の伝統の維持と継承など、その任は大変大きべ重、~^他の山とは違い大峯は1300年の歴史を有する修験の山として他の山とは違い大峯は1300年の歴史を有する修験の山として、 ぷ会員のチームワークと総力があって初めて可能となります。引 力は き継いだその責務を次の世代へ確実にバトンタッチすべく大任で りますようお願いします。 りますが精 杯努力する所存でありますので、

12:03→13:16 善龍寺駐車場 (記;沖崎 写真;梶野)善龍寺駐車場 09:15→石尊大権現 10:55→11:13 白猪山山頂一行動タイム

